２０２６年９月　　２６１号

日本共産党
天王台後援会ニュース

〈天王台、東我孫子、高野山、泉、下ヶ戸、岡発戸、柴崎台、柴崎、青山台、青山、南青山地域〉〈部内資料〉
住所 270−1138　我孫子市下ヶ戸1825―19−103　　電話 7184−2670,　　発行責任者　中村良雄

高市政権：新型軍国主義・戦争国家へまっしぐら
日本列島を「軍事産業化」大企業・軍事への「積極財政」
暮らしと民主主義破壊への道は許せません



高市首相：「中国・アジアへの侵略戦争は私には関係ありません」「反省などありません」「自分は当事者とはいえない世代だから反省なんかしていない。反省を求められるいわれもない」

この発言に対して、日本の知識人・ジャーナリストが「このことには歴史を見つめる謙虚さと言うものがほとんど感じられない」と嘆いていました。テレビでも「総理は『反省』に触れず『不戦の誓い』が消えた」と報道しています。

熟議の場を破棄する極右政党「維新」の手法が高市さんの野望の後押しをしています。自民・維新の連立政権合意にはいくつもの政策が盛り込まれています。主な政策には「副首都」法、衆議院比例定数削減法案、「国家情報会議」設置法、国旗損壊処罰法、防衛装備移転三原則の運用指針の改定、旧姓の通称使用拡大などがあり、いずれも維新の政策が色濃く反映しています。軍事偏重の戦争国家へ加速する維新という政党の極端な政策が、高市さんの軍事国家への志向と相まって、中国への侵略の野望さえ浮き出ています。

大きな変質「経済の軍事化」

その　変質の現れが「経済の軍事化」です。高市首相は「防衛と経済の好循環」を主張して軍事化を成長戦略の手段に位置づけました。軍事費の国内総生産比２％前倒し実施、戦後初の軍拡増税、敵基地攻撃可能な長距離ミサイル配備、南西諸島の軍事要塞化、国家情報会議設置による日米の軍事連携強化と国民監視、スパイ防止法制定の具体化推進、殺傷能力の高い兵器の輸出などなど、安全保障政策の大転換です。

暮らし置き去り、国家破綻への道を暴走

これまでの政策のあり方を根本的に転換する本丸は、「責任ある積極的財政」です。その中身は「骨太の方針」「日本成長戦略」に示されるＡＩ（人工知能）・半導体や軍需産業など１７の戦略分野への３７０兆円超のばらまきです。

高市政権は大企業支援に明け暮れる一方で、物価高から暮らしと中小企業を守る有効な対策は打ってきませんでした。希望どころか暮らしの危機はいっそう強まっています。

（天王台後援会会長　中村良雄）

嘆きの3首

トランプなのにハートがない。
シンジロウだけど信じられない。
サナエなのに実りがない。
こんな人たちには政治は任せられません。

千葉県豪雨（線状降水帯発生）、地域の声は！

我孫子市の浸水被害状況

床上浸水　　６９件
床下浸水　１１６件
店舗浸水　　２０件
（天王台６丁目　床上１９床下２１）
（泉　　床上２３床下１７）
車の被害　　多数

（8月２８日現在）

天王台6丁目の浸水は以前も

天王台６丁目の浸水は以前からあり、雨水を流す管を改修したけれど、今度のような急激な多量の雨には、対応しきれなかったようです。雨水管の取り換えをしないと、再び浸水が起こります。

（天王台・N）

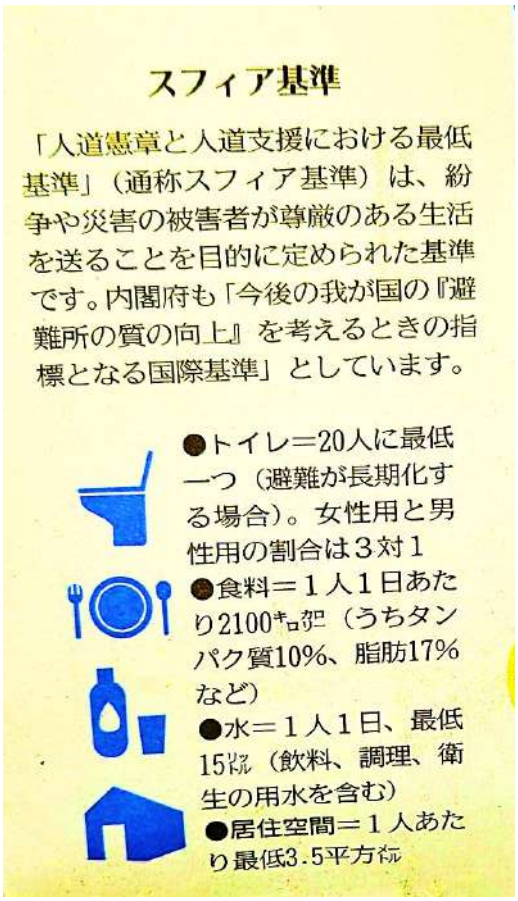
我孫子郵便局近くの交差点では

お盆で来宅した妹夫婦が、大雨の中車で帰宅しようとしたのですが、我孫子郵便局近くの交差点で、車にどんどん水が入り動けなくなりました。車から出ることはできたのですが、消防車が、車を道端に動かしてもらった後、１週間近く放置することになり、結局廃車になりました。その間車は傷つけられもせず、日本の治安の良さを感じました。　（東我

天王台６丁目は被害発生

天王台６丁目の被害は、床上浸水１９、床下浸水２１でした。
今回のような大雨がまた起こるとまた同じような被害が生じます。
市民の安全を守ることは市政の最も重要課題です。地球温暖化による気候変動に伴う大雨に対する現在の基準を、早急に見直すことが必要だと考えます。

（東我孫子・Y）



避難所にＴトイレＫキッチンＢベットを，防災予算も人員も少なすぎます。

近くの坂道の側溝から水が溢れ道路に浸水していて、この大雨にびっくりしました。毎日のように日本のどこかで地震や線状降水帯による被害のニュースがあります。まさに災害大国日本です。しかし被災した人々への対策が十分ではありません。
イタリアでは発災後４８時間以内に避難所に必要な「Ｔ（トイレ）・Ｋ（キッチン）・Ｂ（ベッド）」がそろうと新聞で読んだ記憶があります。イタリアでは、災害対応省と各州の「市民保護局」が迅速に対応するようです。日本でも国がもっと予算を取って被災者対策をしてほしいです。

（天王台・Ａ）

しんぶん赤旗日曜版より

我孫子市9月議会

―9月2日より30日まで ―



９月議会では、千葉豪雨災害に対する市の対策についても質問する予定です。
異常気象が頻発する現在、線状降水帯の発生はいつ起きるかわかりません。

我孫子市のアンダーパスで、かつて車の浸水事故があった場所には、いち早く通行止めが置かれ、被害は免れたようです。しかし今回は、今まで起きたことのない場所で、車の浸水事故が起きました。また、路肩のくずれなどもありました。

今までの基準では、対応できない被害が起きています。我孫子市でも、長期の見通しを立てながら、早期に対策を立てなくてはなりません。

日本共産党の船橋議員は、６月議会で新リサイクルセンター建設に関する予算に対し反対しました。（建設費約１１８億円　運営費約９１億円　　合計約２０９億円）

現在のリサイクルセンターはいろいろ課題があるため直すべきところは直し、最低限の建設費でおこなうべきではないかという考えです。

近日中に　日本共産党の「あびこ民報」で政策をお知らせします。

平和を求める声を短歌で

平和フェスティバル短歌展示より

嘆歌

青山台農夫

・誰でしょう　一番初めの容疑者は
　損壊するのは国旗より　瑞穂の国と憲法と

・やりましょう　国債濫発　武器輸出
　あとは野となれ山となれ　戦う国にするために

・天皇は女じゃダメと言う首相　私はいいの
　なぜならば　トランプ抱きつくためだから

・気狂（きちが）いと刃物の横行する世界
　それを支える人もあり　大戦中の我国もそれ

～平和の危機のなかで、希望を見いだすために～

伊藤千尋さん講演会



国際ジャーナリス

日時　9 月 22 日（火・祝）

14;00～16;00(開場 13;00)

場所　我孫子市民プラザ・ホール

（我孫子ショッピングプラザ 3F)

参加費　700円

主催　ピースアクション 我孫子　あびこ女性会議　我孫子市九条の会

後援　　我孫子市　我孫子市教育委員会

連絡先　090-5193-0601(井上)

2026 年第18回あびこ平和フェスティバル開催

NO WAR 戦争はイヤです。

高市政権のもと、新型軍国主義国家へまっしぐらの中で、2026年第18回あびこ平和フェスティバルが8月22日・23日我孫子市民プラザで開催されました。参会者は160名を超えました。

平和の歌声、三つの講演、映画、子供・幼児向けのアニメがあり、原水禁世界大会の報告・被爆者の「平和への願いを込めた」の語り、市内三つの団体による短歌・創作教室など多彩な行事が2日間に渡り繰り広げられました

22日は平和の歌声で始まり市内の3人の女性グループによろ絶妙なハーモニーを楽しみました。続いて講演「戦争と建設労働者」と題して千葉土建合、書記長赤羽根さんによる話。さらに映画「米軍が最も恐れた男」を上映。23日、午前のプログラムで歌人の碓田のぼるさんの講演。同時刻に別会場で幼児・子供向けのアニメ映画が上映されました。さらに短歌創作教室には多数が参加し出品された作品を鑑賞しました。

講演の最後は全国革新懇代表世話人の五十嵐仁さんの講演で「いま憲法が危ない」と題して講演を頂きました。

（天王台　中村良雄）







